



J-BILAT 月刊ニューズレター 第9号  
2010年12月

J-BILAT Newsletter No. 9  
December 2010

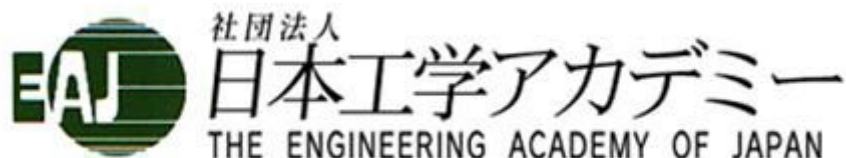


## J-BILAT 月刊ニュースレター 第9号 (2010年12月)

目次	page
1. 新たなJ-BILAT協力機関：日本工学アカデミー	3
2. ニュース	3
2.1 FP8 に向けた ICT for Health (eHealth) 分野のアンケート調査今後の関連する催し	3
2.2 KYOTO プロジェクトワークショップ 2011 年 1 月 25-28 日、岐阜 今後の関連する催し	4
2.3 Future Internet Week, 16-19 May 2011, Budapest	5
2.4 ICT Proposers' Day 2011, 19-20 May 2011、Budapest	5
3. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介 その9: IMS2020 プロジェクト	6
4. 公募情報	9
4.1 環境分野でのJSTのマッチングファンド（戦略的国際科学技術協力推進事業に基づく EUとの「環境」分野に関する研究交流の支援）	9
4.2 その他、日本からの応募が可能なFP7公募	10
5. プロジェクトデータベースへの登録のお願い	12
6. 欧州連合加盟国紹介 その4 フランス共和国	13



## 1. 新たなJ-BILAT協力機関：日本工学アカデミー



2010年12月、日本工学アカデミー（EAJ）がJ-BILATの8番目の協力機関として加わりました。1987年に設立をされ、工学界のリーダー約600人の会員を擁する民間団体で、現会長は元東京大学総長の小宮山宏氏です。

日本工学アカデミーは、国際工学アカデミー連合（International Organization of Engineering and Technological Sciences Academies, CAETS）の日本からのメンバーとして、精力的に活動をされており、エネルギーや新生産技術といったFP7関連分野のみならず、広くJ-BILATプロジェクトの活動増進に寄与していただける機関として期待されています。

なお、他の協力機関は以下の通りです。

- 経済産業省(METI)
- 産業技術総合研究所(AIST)
- 物質・材料研究機構(NIMS)
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
- 科学技術振興機構(JST)
- 日本学術振興会(JSPS)
- EUインスティテュート関西(EUIJ-Kansai)

## 2. ニュース

### 2.1 FP8に向けたICT for Health (eHealth) 分野のアンケート調査

2014年に開始予定の次期研究枠組み計画(FP8)に向けての準備の一環として、ICT for Health (eHealth) 分野のアンケート調査が行われています。eHealthは特に欧州が他をリードしている分野であり、次期計画でもICT分野の重要な領域の一つになると思われます。特にEU加盟国やFP7関連国に限定された調査では無いようですので、日本からの参加をされている方々や参加を検討中の方々も意見を伝える良い機会ではないかと思えます。締切りは2011年1月17日、ブリュッセル時間の正午です。詳細は以下のページを御覧ください。

[http://ec.europa.eu/information\\_society/newsroom/cf/itemdetail.cfm?item\\_id=6564](http://ec.europa.eu/information_society/newsroom/cf/itemdetail.cfm?item_id=6564)

## 今後の関連する催し

### 2.2 KYOTO プロジェクトワークショップ 2011年1月25-28日、岐阜

FP7 プロジェクトが日本にてプロジェクトミーティング及び一般向けのシンポジウムを計画されています。欧州プロジェクトが日本で企画をするというネットワーキングにはまたとない機会でもあり、ご関心のある方々のご参加を広く期待されています。プロジェクトのウェブサイトの左上にあります “The Second KYOTO Workshop” をクリックしていただきますと詳細が見られますが、プロジェクト内部のイベントに続いて 25-28 日がシンポジウムで、以下の方々の招待講演が予定されています。

- Jordi Atserias and Michael Matthews, Yahoo
- Marius Pasca, Google
- Bernard Fleming, Environment Specialist
- Ralf Steinberger, European Commission - Joint Research Centre
- 長尾真, 国立国会図書館長
- Jim Ellsworth, environmental expert

最終日の28日には、J-BILAT も関連する講演で参加する予定です。

日時 2011年1月25-28日(土)9:00 - 19:00

場所 長良川国際会議場

<http://www.g-ncc.jp/index.html>

参加費 無料、但し以下ウェブサイトからの事前登録が望ましい

イベントウェブサイト <http://www.kyoto-project.eu/>

左上にあります “The Second KYOTO Workshop” をクリックしていただきますと詳細が見られます

公式言語 英語

KYOTOプロジェクト及び日本から参加されている井佐原均さんについては、本ニュースレター第5号の日本機関の関わる FP7 プロジェクトにて紹介しています。以下からダウンロードできますので、併せてご覧ください。

<http://www.j-bilat.eu/newsletter/>

### 2.3 Future Internet Week in Budapest, 16-19 May 2011

EUの推し進める数々の成長戦略を達成するには、次世代のネットワークすなわち未来のインターネットに基づいた進んだ情報基盤・スマートアプリケーションやサービスが必要になります。この Future Internet Week は関係する人々(産業界、学界、欧州委員会関係者や欧州連合加盟国の代表)を一堂に集め、政策、テクノロジーや社会経済的な側面から未来のインターネットについて議論する場が Future Internet Week です。欧州の催しであり、一般の参加は難しいかもしれませんが、情報としてお知らせしたいと思います。詳細は以下のサイトを御覧ください。

<http://www.fi-budapest.eu/>

### 2.4 ICT Proposers' Day 2011 in Budapest, 19-20 May 2011

先の催しに引き続き、同じくブダペストにて ICT Proposer's Day 2011 が開かれます。欧州委員会による助成の仕組み及び、特にICT 分野で今後出される予定の以下の公募 (ICT Call 8 & 9) についての情報、またパートナー探しの非常によい機会です。この時期にお近くにおられる方は、是非参加されると良いと思います。参加費は無料で、登録は 2011 年 1 月に開始の予定です。

[http://ec.europa.eu/information\\_society/events/ictproposersday/2011/index\\_en.htm](http://ec.europa.eu/information_society/events/ictproposersday/2011/index_en.htm)

ICT Call 8 及び Call 9 で公募される分野の情報その他に関しては、以下の情報を参考に、年次計画をご覧ください。ICT 年次計画 (Work Programme 2011-2012) のダウンロード及び他の情報収集は以下から可能です。

<http://cordis.europa.eu/fp7/ict/>

Call number	公募開始予定(前後一ヶ月ずれる可能性あり)	締切予定	Work Programme 2011-2012 中の詳細ページ
ICT call 8	26 July 2011	17 January 2012	132-135
ICT call 9	18 January 2012	17 April 2012	135-137

### 3. 日本の機関が関わっている欧州プロジェクト紹介その9

#### IMS2020 プロジェクト


プロジェクト名	IMS2020: Supporting global research for IMS 2020 Vision
短縮名	IMS2020
契約番号	233469
プロジェクト開始日	2009年1月1日
期間	31 ヶ月
助成金	2,000,000 ユーロ
ウェブサイト	<a href="http://www.ims2020.net/">http://www.ims2020.net/</a>



第9回は、ナノ科学・ナノテクノロジー・材料及び新生産技術（Nanosciences, nanotechnologies, materials and new production technologies; NMP）領域に含まれるプロジェクト、IMS2020: Supporting global research for IMS 2020 Vision（製造分野における2020年に向けた研究ロードマップ開発）、IMS2020 プロジェクトを取り上げます。コーディネータはイタリアのミラノ工科大学(Politecnico di Milano)で、日本からの参加者は慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の中野 冠 教授のグループです。他の参加機関は、イタリアから Consiglio Nazionale delle Ricerche 及び Comau SPA、ベルギーの JRC -Joint Research Centre- European Commission と Comite Europeen de Normalisation、スペインの Fundacion FATRONIK、ドイツから Forschungsinstitut fuer Rationalisierung、ノルウェーの Norges Teknisk-Naturvitenskapelige Universitet NTNU、スイスからは Holcim Group Support LTD・Eidgenössische Technische Hochschule Zürich・Ecole Polytechnique Federale de Lausanne の3機関、アメリカの Rockwell Collins, Inc.・Clemson University Research Foundation、韓国の Korea Advanced Institute Of Science And Technology です。

Intelligent Manufacturing Systems (IMS) プログラムとは、産業界主導によるグローバルな研究開発プロジェクトであり、特に以下の5つに焦点を当てて次世代の製造及び加工技術の確立を目指しています。

1. 持続可能な製造、製品及びサービス
2. エネルギー効率のよい製造
3. 鍵となる技術(次世代の製造にインパクトを持つナノテクノロジーやロボティクスなど)
4. 標準化
5. イノベーション、能力開発と教育



一つの重要な活動は、産業研究に関するテクノロジープラットフォームを提供し、参加者が経験や成功事例を共有し、共通のグローバルな展望を持てるようにすることです。IMS2020 プロジェクトはこのヨーロッパが中心となった活動をサポートし、国際協力を強化することを目的にしており、以下の5つの目標を掲げています。

- a. IMS が掲げる上記の5つの中核領域に一貫したロードマップを作成すること
- b. 地域をまたぐ共同プロジェクトを促進し、IMS 研究を支援する新しい方式や枠組を特定すること
- c. IMSの対象領域での国際共同研究開発プロジェクトへの中小企業の参加を促すための、的を絞った方策を特定すること
- d. 国際もしくは地域間コミュニティーを設立し、結果と知識の交換を確かにすること
- e. 法制化への道を拓き、また知のネットワークを築いて IMS 提案の土台形成準備をすること

我が国では2005年から経済産業省による技術戦略ロードマップが作成されています。欧州では、これに触発されて米国や韓国などを巻き込んだ技術戦略作りが提案され、製造分野の国際プログラム Intelligent Manufacturing System (IMS) (残念ながら日本は2009年春に脱会)の枠組みで行なわれています。慶應義塾大学の中野さんは、IMS2020 の主要メンバーと以前より交流があったため、依頼されて参加されたそうです。

我が国の技術戦略ロードマップは、大学と企業の専門家がボランティアで作成するもので、成果の信頼性は高いものです。一方、欧州は博士課程とポスドクの人材育成の観点で行われており、中野研究室にもスイスとイタリアの博士課程学生が滞在されました。彼らは米国や中国などにも留学しており、たとえ欧州の研究成果は我が国に見劣りしても、将来を見越して国際経験を積んだ若者を量産する戦略を感じとられたそうです。

原則として日本を含む EU 域外の高所得国には EC からの資金が来ることはないため、わずかにキックオフ会議の出張費が出ただけだそうで、研究室から欧州と同じように海外に出張できる資金があれば、共同研究の効果も大きかったと思われます。



写真： 2008年初めにブリュッセルEU本部で行われたキックオフ会議にて。向かって右から6人目、唯一のアジアからの参加者が中野氏でした。(提供 慶応義塾大学 中野冠 教授)

なお、中野研究室の研究姿勢は、「要素技術に合う応用を選択・研究するのではなく、システム全体の要求分析と設計をして、必要な要素技術を選択・研究する」というもので、IMS2020のような技術戦略作りも研究対象です。詳しくは、以下のリンクをご参照ください。

<http://lab.sdm.keio.ac.jp/nakanolab/index.html>

また、IMS に関しては以下のサイトを御覧ください。現在、欧州連合に加え、メキシコ、韓国、スイス及びアメリカ合衆国の機関が中核メンバーとして活動しています。

<http://www.ims.org/>

## 4. 公募情報

ニュースレター発行時点での最新の情報をお送りしております。

### 4.1 環境分野でのJSTのマッチングファンド

戦略的国際科学技術協力推進事業に基づく EU との「環境」分野に関する研究交流の支援環境関連の以下の公募課題に基づくプロジェクトへの日本からの参加機関に対する助成で、3年間で2,250万円を上限として研究交流のための委託研究費を受けられます。日本からの参加機関は、プロジェクトのパートナーとしての欧州委員会への応募とともに、JST への応募もすることになります。以下のサイトから必要書類をダウンロードし、ご検討ください。

[http://www.jst.go.jp/sicp/announce\\_eu3rd.html](http://www.jst.go.jp/sicp/announce_eu3rd.html)

締め切り：平成23年2月2日(日本時間午後5時)

プロジェクトは、以下の FP7 の公募課題のいずれかに対応している必要があります。既に締め切られたものもあり、現在応募が可能なものは以下のとおりです。欧州委員会のプロジェクトへの応募締め切りは公募により違いがありますのでご注意ください。

- 10. Marine microbial diversity – new insights into marine ecosystems functioning and its biotechnological potential (OCEAN.2011-2)
- 14. Promoting conifer genomic resources (KBBE.2011.1.1-01)
- 15. Integrated approach to studying effects of combined biotic and abiotic stress in crop plants (KBBE.2011.1.1-02)
- 16. Root signalling, growth and development under abiotic stress conditions (KBBE.2011.1.2-05)
- 17. Plant photosynthetic efficiency: from a C3 to a C4 system (KBBE.2011.3.1-01)
- 18. BioWASTE - Novel biotechnological approaches for transforming industrial and/or municipal biowaste into bioproducts – SICA (KBBE.2011.3.4-01)
- 20. Intelligent testing strategies for nanomaterials impact and exposure – towards regulation and clustering of materials (NMP.2011.1.3-3)

(The serials are the area number of the call of FP7: <http://cordis.europa.eu/fp7/dc/index.cfm>)

## 4.2 その他、日本からの応募が可能なFP7公募

この他に、以下のFP7の公募が利用できます(毎号随時アップデートしております)。緑色のものは、特に日本からの参加をターゲットにした部分のある公募や日本からの参加者・機関に助成金が出る可能性のあるもの、ピンクのものは前号から新たに付け加わったもの(今回は無し)です。

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Capacities	FP7-INCO-2011-7	15 March 2011 at 17:00	Activities of International Cooperation	Strengthening European research facilities in third countries - INCO-LAB 日本にある欧州の機関との共同研究所の利用を欧州の他の国にも広げるもの。
Capacities	FP7-INCO-2011-6	15 March 2011 at 17:00	Activities of International Cooperation	Reinforcing Cooperation with Europe's neighbours in the context of the ERA
Capacities	FP7-SCIENCE-IN-SOCIETY-2011-1	20 January 2011 at 17:00	Science in Society	
Cooperation	FP7-ENERGY-2011-2	07 April 2011 at 17:00	Energy	See also SET-Plan (Technology Roadmaps and Implementation Plans of the European Industrial Initiatives)
Cooperation	FP7-OCEAN-2011	18 January 2011 at 17:00	Energy, Environment (including Climate Change), Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology, Transport (including Aeronautics)	Information Day on the call: Brussels, 9 September 2010 (prior registration is compulsory - see the InfoDay webpage for more details)
Cooperation	FP7-ERANET-2011-RTD	22 February 2011 at 17:00	Energy; General Activities; Health; Food, Agriculture and Fisheries, and Biotechnology; Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies; Socio-economic sciences and Humanities; Transport (including Aeronautics)	A Pre-Proposal Check (PPC) service is available (see form in Additional documents) to those wishing to submit an ERA-NET/ ERA-NET Plus action under the FP7 joint call. This service allows a proposer to check on the appropriateness of their proposed action and the eligibility of the proposal consortium. Please note that the pre-proposal check service, for the cut-off date of 22 February 2011, will remain open until 25 January 2011.
Cooperation	FP7-NMP-2011-CSA-5	01 February 2011 at 17:00	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-LARGE-5	28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-SMALL-5	28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-NMP-2011-SME-5	28 April 2011 at 17:00 - Second deadline (for 2-stage procedure indicative)	Nanosciences, Nanotechnologies, Materials and new Production Technologies	
Cooperation	FP7-SSH-2011-3	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Coordination and support actions
Cooperation	FP7-SSH-2011-1	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Collaborative projects (large scale integrating research projects)

プログラム	公募番号	応募締切 (Brussels local time)	含まれるテーマ	Comments
Cooperation	FP7-SSH-2011-2	02 February 2011 at 17:00	Socio-economic sciences and Humanities	Collaborative projects (small or medium scale focused research projects)
Cooperation	FP7-SST-CIVITAS- 2011-MOVE	12 April 2011 at 17:00	Transport Sustainable Surface Transport - MOVE	
Cooperation	FP7-ICT-2011-7	18 January 2011 at 17:00	ICT	
Ideas	ERC-2011-AdG_20110209	09 February 2011 at 17:00	ERC	Physical Sciences & Engineering (Panels: PE1 - PE10) 上級研究者向け
Ideas	ERC-2011-AdG_20110310	10 March 2011 at 17:00	ERC	Life Sciences (Panels: LS1 - LS9) 上級研究者向け
Ideas	ERC-2011-AdG_20110406	6 April 2011 at 17:00	ERC	Social Sciences & Humanities (Panels: SH1 - SH6) 上級研究者向け
People	FP7-PEOPLE-2011-ITN	26 January 2011 at 17:00	Marie-Curie Actions	Marie Curie Initial Training Networks 2011 (ITN) 大学院生レベルを対象にしたもの。個人ではなく機関が応募。
People	FP7-PEOPLE-2011-NIGHT	12 January 2011 at 17:00	CSA for Researcher's Night	
People	FP7-PEOPLE-2011-IRSES	17 March 2011 at 17:00	Marie Curie International Research Staff Exchange Scheme (IRSES)	
People	FP7-PEOPLE-2011-CO-FUND	17 February 2011 at 17:00	Marie Curie cofunding of regional, national and international programmes	
People	FP7-PEOPLE-2011-CIG	08 March 2011 at 17:00	Marie Curie career integration grants	
Euratom	FP7-Fission-2011	7 April 2011 at 17:00	Nuclear Fission and Radiation Protection	

何かご質問等ありましたら、J-BILATにお知らせくだされば、できる範囲でお答え致します。また、ご応募の後に採択された場合など、ぜひ体験をお寄せいただければと思います。次年度以降のセミナーやワークショップで、共有したいと思います。

## 5. プロジェクトデータベースへの登録のお願い

ワークショップ開催の案内等、プロジェクトに関する情報をお送りするために、データベースへの登録をお願いしております。プロジェクトウェブサイトからの登録 (<http://www.j-bilat.eu/registration>) に加え、メールやファックス (03-3221-6226) にて、以下の情報をお送りいただいても結構です。

### 登録フォーム / Registration form

Title (Mr. /Mrs./ Dr. /Prof.)		_____
Surname	姓	_____
Name	名前	_____
Position	役職	_____
Affiliation	所属	_____
Mailing address	所属先住所	_____
E-mail address	メールアドレス	_____
Telephone No.	電話	_____
Fax No.	ファックス	_____
Area of interest	興味のある分野	_____
Health	保健	<input type="checkbox"/>
Food	食料	<input type="checkbox"/>
Agriculture and Biotechnology	バイオテクノロジー	<input type="checkbox"/>
information and communication technologies (ICT)	情報通信技術	<input type="checkbox"/>
Nanosciences	ナノ科学	<input type="checkbox"/>
Nanotechnologies	ナノ科学及びナノテクノロジー	<input type="checkbox"/>
Materials and new production technologies	材料及び新生産技術レス	<input type="checkbox"/>
Energy	エネルギー(原子力を除く)	<input type="checkbox"/>
Environment (including climate change)	環境(気候変動を含む)	<input type="checkbox"/>
Transport (including aeronautics);	運輸(航空を含む)分野	<input type="checkbox"/>
Socio-economic sciences and the humanities	社会経済科学及び人文科学	<input type="checkbox"/>
Security and space research	宇宙・安全・原子力	<input type="checkbox"/>
Other	その他	<input type="checkbox"/>

## 6. 欧州連合加盟国紹介 その4 フランス共和国

欧州連合加盟国、特に研究開発に関し、簡単な紹介をしています。第4回は、フランス共和国です。

フランス共和国について  
漢字表記: 仏蘭西(略称 仏)  
面積: 551,500 平方キロ  
主要都市: パリ(首都)、リヨン、マルセイユ、リール、ストラスブール 他  
人口: 6442万人(2009)  
公用語: フランス語  
宗教: カトリック 85%、他  
経済: 名目GDP: 2.68 tn USD (2009)  
産業構成GDP:  
農業: 1.8%  
工業: 19.3%  
サービス業: 78.9%

科学・技術  
国全体の研究開発支出(Gross Domestic Expenditure on R&D;GERD): GDPの2.04% (2007)  
研究開発費の出所  
政府 39.4% 民間 50.5%

フランスは、CNRS や CEA などの機関を見てもわかるとおり、科学・技術に関して特に国家の影響が強く、大学に関しては教育に力を置いているという特徴がある。

フランスの研究活動に関しては、高等教育研究省 Ministère de l'Enseignement supérieur et de la Recherche (MESR)

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/>

及びフランス国立研究機構(L'Agence nationale de la recherche; ANR)のサイトが詳しい。

<http://www.agence-nationale-recherche.fr/>

また、ICT分野でアジアと連携を進めており、以下のサイトが参考になる。

<http://www.ict-asia-france.org/>

(出典: CIA Factbook, Wikipedia, OECD他)

### 日本におけるFP7情報サービス事業(J-BILAT)

プロジェクト名	BILAT in Japan	短縮名	J-BILAT
プロジェクト開始日	2010年1月1日	契約番号	244310
期間	36 ヶ月		
予算	612,090ユーロ(内500,000ユーロがFP7からの助成金)		

本ニュースレターに含まれるFP7関連その他の情報は得られた時点で最新のものを正確にお伝えするよう努めておりますが、意見等は関係機関の公式見解を表わすものではなく、また本文にEUの公式文書その他の日本語訳が含まれる場合にも、原典と同等の内容の正当性を保証するものではありません。本ニュースレターに関するご意見・ご要望・配信の停止を含むお問い合わせは、右記の担当、市岡までお寄せください。

Fabrizio Mura  
プロジェクト代表  
E-mail: fabrizio.mura [at] eu-japan.gr.jp

市岡 利康  
プロジェクトマネジャー (J-BILAT担当)  
E-mail: toshiyasu.ichioka [at] eu-japan.gr.jp

日欧産業協力センター  
〒102-0082 東京都千代田区一番町13-3  
ラウンドクロス一番町4階  
Tel: +81-(0)3-3221-6161  
Fax: +81-(0)3-3221-6226



Bilat in Japan is co-funded under the 7th Framework Programme for RTD under the Capacities Programme - International Cooperation (Grant agreement No.: 244310)

© 日欧産業協力センター  
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation

編集: 市岡利康、Christian Roessel

Please click for TWITTER